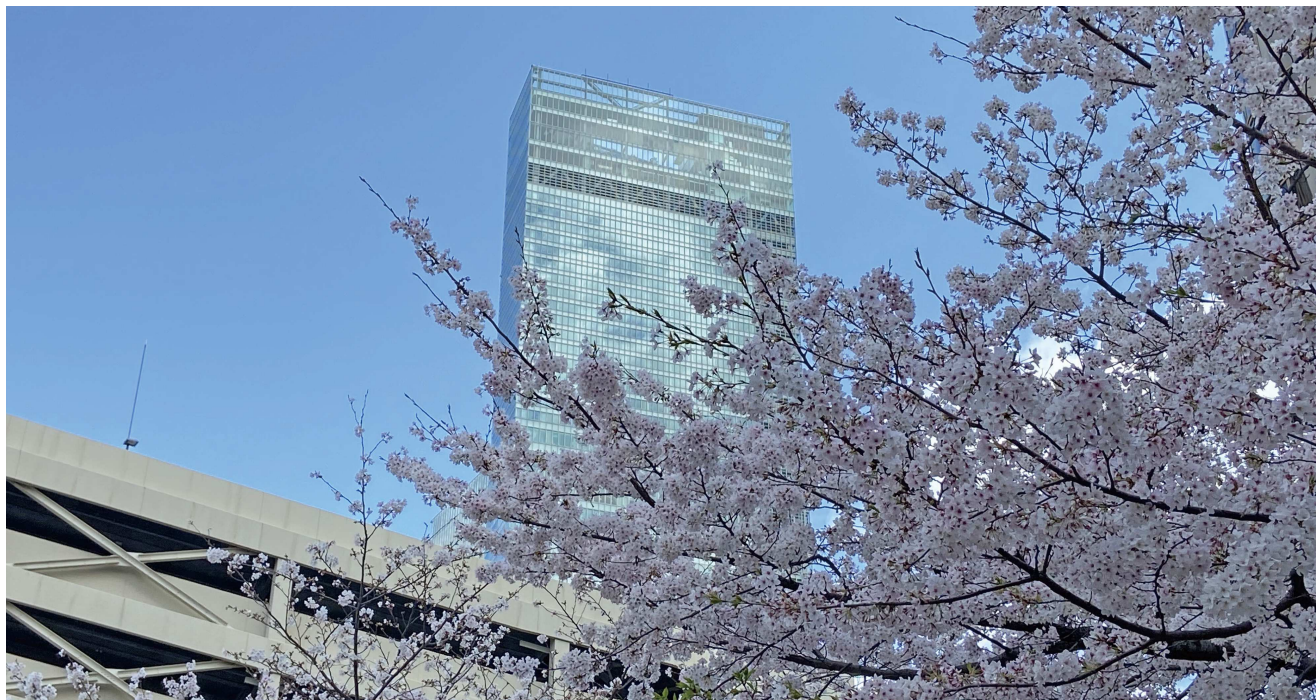


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 41 号

令和3年(2021年)
4月1日 発行



春を映すハルカス（大阪市阿倍野区）

コロナ禍の中、感染防止のため三密を回避することが求められてから約一年。お寺の行事も開催しにくい状況が続いています。

昨年末のお餅つきもそうでした。例年、本堂にお供えする鏡餅を作るために、ご門徒の皆さん十名くらいに集まっていたいただいているのですが、今回は家族だけでつくことに。

杵と臼を使って四人だけでつくお餅。「私と息子がつく、妻と娘が丸める」と段取りを考えていました。しかし、つくほうも丸めるほうも、なかなか思い通りにはいきません。

最終的に出来上がったお餅は見事？デコボコに……。毎年のことなので慣れていると思っていました。まったくそんなことはありませんでした。

お供えしたデコボコの鏡餅を眺めながら、いつもお手伝いしてくださっている皆さんにあらためて感謝の気持ちを抱くことができました。これはコロナ禍だからこそ知らされた事実でもあったのです。

（隅谷俊紀）

と う ひ が ん 到 彼 岸



ぶつご
仏語に生きる

かどかわ たかし
浄方寺 門川崇志

さんの人々を目の当たりにしました。

そのご縁で海外医療協力隊のメンバ
ーとして現地に赴き、さらに任期終了
後は独立して活動が続けられました。

ところが二〇〇〇年、アフガニスタ
ンの大干ばつがきつかけとなり、医療
のみならず飲料水・灌漑かんがい井戸事業を始
められ、多くの命が救われました。

いちごう 一隅を照らす

比叡山を開かれた伝教大師最澄でんぎようだいしさいちようの仏
道を貫く信念は「一隅を照らす」とい
う言葉にあらわれています。

誰も見向きもしないような隅っこで
苦悩するものにこそ眼差しを向け照ら
していく。親鸞聖人のお念仏のこころ
の根底にも流れるこの言葉を、中村医
師は生前、大切にされていたそうです。

これは、「誰もやらないなら、我々が
やる」という中村医師所属のペシヤワ
ール会の精神に通じるように思います。

いのちをかける

二〇〇八年、中村医師の同僚が武装
勢力に拉致、殺害されました。日本で
の会見で記者から「命の危険があると
分かっていながら、なぜ活動を続けた
のか」という厳しい質問がありました。

中村医師は「溺れかけた子を救いに
親が海に飛び込んで死んだとして、誰
が親を批判するだろうか」と静かに問
い返されたそうです。

中村医師の生き方はとても真似でき
ません。しかし「一隅を照らす」とい
う仏語は、「一隅にいる私を照らしてく
ださる」阿弥陀さまが、いのちをかけて、
私たち一人一人にお念仏の声となって、
寄り添ってくださっていることを教え
てくれます。

(令和3年4月)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

まかせよ、おまかせします

四国教区 聴徳院 河野^{この}法正^{のりまさ}師



本山佛光寺のホームページにある佛光寺YouTubeブチャネルにて河野師の法話を聴聞させていただきました。

スや自然災害などの予測できない事態が起きています。それによりたくさんの方の命が失われています。

浄土真宗ではお念仏を申すことを大切にしています。親鸞聖人は「これから命を終えていく私であるけれども決して捨てることなく仏の世界に生まれ行く。その力が南無阿彌陀仏に十二分に具わっているから大切になのだ」と。

その亡くなる人々を救おうと医学や科学の研究者が懸命になっていますが、人が命を救いたいとどれだけ願ったとしても、その願いには限界があるというのも事実です。

一方、仏さまは私たちがどんなに願っても苦しみのもと、つまり死ということからは逃れられないのだと私たちに教えてくださっています。

仏の視点・私の視点

最近では新型コロナウイルス

祖父の死を通して

二十年前、大学生のころに祖父が亡くなりました。私はその時、冷たくなった祖父の頬に手をあて、死を実感させられました。

私たちの願望がどのように満たされたとしても、私たちは死の苦しみから逃れられませんが。

しかし、「まかせよ」という仏さまからの喚びかけがあり、

「おまかせします」と言えるお念仏のある人生であれば、本

当の意味で尊いものになるのではないのでしょうか。このように河野師のご法話を聞かせていただきました。

今回、私たちの逃れることのできない苦しみを通し、浄土の救いをお話してくださいました。

私自身、死から逃れられないと頭では理解しているつもりです。しかし、いつ訪れるのかわからない死に対する不安はつきません。

そんな私たちが「まかせよ」という仏さまの喚び声に「おまかせします」とお念仏を受け止めていけるのであれば、今日という日が安心でき、今を大切に力強く生きていけるのだと聴かせていただきました。

(寿栄松正顕 記)

大阪探検

おおさか きたはま
大阪 北浜

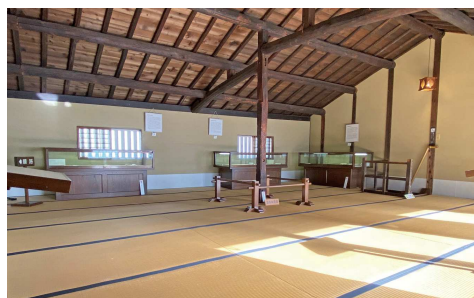
てきじゅく
適塾



適塾



緒方洪庵の像



住み込み塾生が生活していた大部屋

【アクセス】

- ・京阪電車「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩5分
- ・大阪メトロ「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩5分

感染症と向き合う

適塾は蘭方医の緒方洪庵が1838年に開いた蘭学塾で、西洋医学の研究や牛痘種痘（天然痘の予防接種）を大阪で広め、コレラ治療など多くの医療事業を生みだしました。現存する建物は国の重要文化財に指定されています。

塾生には福沢諭吉、佐野常民（日本赤十字社の創立者）など近代日本を支えた政治家や学者を輩出し、また他の塾生も適塾で学んだあと故郷で地域医療に邁進したそうです。

1849年、洪庵は「天然痘で亡くなる患者を一人でも救いたい」という思いから天然痘予防のための除痘館を開設します。しかし「種痘

をすると牛になる」（牛の感染症である牛痘の膿を予防接種の種にしていたため）という風評や漢方医らの妨害もあり、困難を極めました。しかし粘り強く情報を発信し続け、9年後には幕府から公認を受けます。

また1858年に江戸だけでも十万人もの死者を出したコレラが流行したときは治療法が記された『虎狼痢治準』を著し、医師に無料配布しました。

適塾はその後、出身者を中心に大阪医学校を設立、大阪大学医学部へと形を変えていきます。現在、洪庵の思いを受け継いだ大阪大学医学部や大阪大学発のバイオベンチャーが新型コロナウイルスのワクチン開発を進めています。

（玉出宗順）

ごえんさんを訪ねて

こうようじ 光用寺 (大阪市淀川区) 佐竹寛繁 住職



新大阪駅にほど近く、都会の中に
ありながら、昔ながらの佇まいを保
つ光用寺。歴史は古く天平19（74
7）年、奈良時代の僧、行基菩薩に
よって法相宗のお寺として創建され
ました。正中元（1324）年、当
山第38代住職空専が佛光寺第7世了
源上人に帰依し、お念仏の伝灯を今
に伝えています。

60代目を数える現住職は平成7（1
995）年、住職を継職されました。
その後、平成24（2012）年にお
勤めされていた役所を退職され、法
務に専念されておられます。

四か国語のパンフレット

お寺の本堂にお参りすると、まず
目に留まったのが、入り口に置かれ
ている英語、中国語と韓国語に翻訳
されたお寺の縁起のご案内です。住
職にお聞きすると、ここ数年、お寺
が新大阪駅の至近にあることもあり、



光用寺の本堂

外国の方の訪問が多いとのこと。コ
ロナ感染症が拡大する前は、中国か
らの修学旅行生の訪問も受けられ、
対応されていたそうです。きっと都
会の中にある古刹の風情に惹きつけ
られたに違いありません。

住職として

住職として、どういうことを大切
にされてこられたかをお聞きます

と、「継職して以来、お同行と同じ目
線でお念仏の教えをたずねていく姿
勢を大事にしてきました。これから
もこの姿勢を忘れることなく、お同
行と一緒にお念仏の教えを喜び、生
かさせていただきたい」と語ってく
ださいました。

今後の目標

「ジムで泳ぐことが楽しみ」と話さ
れる住職。「最近はコロナでかなか
ジムに通えないのですが、体力気力
を保ち、創建から今年で1274年、
自分の代で創建1300年の法要を
やり遂げたい」と目を輝かせながら、
今後の目標を語っていただきました。

（佐々木太一）

■光用寺（こうようじ）

〒532-0011

大阪市淀川区西中島7-8-5

電話 06-6301-5770

Fax 06-6308-3084

大悲トピックス

■大阪別院修正会を勤修

大阪別院では、毎年1月2日正午より修正会をお勤めしています。今年は教区内寺院の住職さんと息子さんたちもお参りくださいました。

「あらためて我々のお祖父さんお祖母さんもお大切にされたお念仏を折々に称える意味をお互い確かめましようね」と挨拶して「正信偈」をお勤めさせていただきました。



修正会の様子

(大阪別院輪番 草名 彰)

■「佛光寺チャンネル」がスタート

昨年の春以降、新型コロナウイルス感染防止のため、ご法座に集まってお話を聞くことが

が難しくなっております。しかし、「このようなかでこそ、本当の依りどころを確かめて、共に生きていく道を聞かせていただきたい」との思いから、昨年5月本山佛光寺からインターネット上で法話配信する「佛光寺チャンネル」が始まりました。

3月末現在、全国より20名を超える布教使の法話を聴聞することが出来ます。一人の持ち時間は15分です。大阪教区では、教務所長の中井賢隆布教使のほか、4名の布教使の法話が配信され聴聞することが出来ます。本来の布教と聴聞は極めてアナログで、同じ場所同じ空気感の中でこそ、共鳴・共感できるものです。布教実演された布教使は、聴衆の反応もいまま手探りで、一人ビデオカメラに向かい法話をされていたのです。そのご苦勞に感謝です。

(長田 護)



佛光寺YouTubeチャンネル開設

こちらから法話をお聞きいただけます

佛光寺 YouTube チャンネルは本山佛光寺のホームページよりご視聴ください

御本山  用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル **0120-075-055**

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) **371-0367(代)**

FAX (075) **371-5088**

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー



株式会社 **石留石材**

ホームページ

<http://www.ishitome.co.jp>

本社：京都市中京区堀川御池角

TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

 **石留石材株式会社**

各種石塔・石仏・記念碑

寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

「大悲の会」御用達

鯖 ぎぐち
旬魚菜

地下鉄御堂筋線あびこ駅前

tel. 06-6696-6880

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20

さつきマンション 1F

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る



浜屋

お問い合わせ
お申し込みは

通話料無料・浜屋姫路本社フリーダイヤル

0120-1616-94

●受付時間／午前10時～午後6時30分

人工芝施工・内外装工事・サイン・ディスプレイ・テント



協和産商株式会社

<https://www.kyowa-ss.co.jp/>

本社：大阪市東住吉区今川18-1-14

TEL:06-6702-5722 FAX:06-6702-5732

だいひ 絵日記

- 1月 2日 (土) 大阪別院修正会
- 1月 15日 (金) 大悲の会編集会議 (総会・第41号読み合わせ)
- 2月 4日 (木) 大悲の会編集会議 (第41号読み合わせ)
- 3月 17日 (水) 大阪別院彼岸会 (布教：葦名 彰 師)
- 3月 20日 (土) 大阪別院彼岸会 (布教：長田 譲 師)
- 3月 23日 (火) 大阪別院彼岸会 (布教：葦名 彰 師)
- 3月 25日 (木) 大悲の会編集会議 (第41号発送作業・第42号内容検討)

右上より時計回りに、中井賢隆師、葦名彰師、玉出宗順師、隅谷俊紀師。佛光寺ユーチューブチャンネルは下記のQRコードを読みとっていただくことで視聴になれます



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏院の道のりを～



株式会社 モントラベル

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

創業安政3年

京 佛 具 調 進

森田屋

福野御佛具處

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る

tel. fax 075-691-8423

協 賛

佛青懇和会

大阪教区の青年会

(会長：門川崇志)

協 賛

さつき会

大阪教区の坊守会

(会長：木村愛子)

協 賛

法友会

大阪教区の住職会

(会長：佐々木太一)



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

5 月 16 日（日）～ 20 日（木）

法話：隅谷俊紀 師（高照寺）

5 月 21 日（金）～ 25 日（火）

法話：玉出宗順 師（光福寺）

5 月 26 日（水）～ 31 日（月）

法話：脇阪義仁 師（霊松寺）

6 月 6 日（日）～ 10 日（木）

法話：寿栄松正顕 師（西光寺）



編集秘話

今回は、大悲トピックスで紹介する教区内の行事もなく、本山の「佛光寺チャンネル」を取り上げた。伝道は対面が常識だった時代、御勸章などの文書伝道は斬新なアイデアだったに違いない。時を経て、また斬新なオンライン法話。肝心なのは如是我聞、法は真理。聴く側の主体性が問われることには変わりはない。（長田）

編集後記

「巻頭」（1 頁）文章の補足。例年は 5 頁のところを 2 頁にするから、ぼちぼちついても大丈夫だと思っていました。しかし、ついたり、こねたり作業に手間取っていると、途中で餅米も冷めてきて思うようにつけません。さらにそのお餅を丸めるのも至難のわざでした……。あらためて、ご門徒の皆さんに感謝、感謝。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第 41 号（春号）

令和 3 年（2021 年）4 月 1 日発行（発行部数 2200 部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正顕（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰